

創立60周年を迎えて 平和ファミリーが動きはじめた!

小学校同窓会 会長 S.34小卒 山口 洋一郎



来年はいよいよ平和学園創立60周年を迎えます。同窓生の皆様には、さまざまな思いをめぐらされることでしょうか。

平和学園では、創立60周年を「創立の精神である、平和を作り出す為に学園はあることを再認識し、地域に開かれ、地域に貢献する学園として、これからの平和の礎を築く新たな第一歩の出発点とする。」と位置づけ、様々な記念事業が計画されております。

先立って、本年4月23日には、プレイベントとして「From 平和・2005ー高く遠い夢く70歳、エベレスト登頂」と題し、平和学園から地域へ発信する公開イベントを計画し、賀川村島記念講堂に、先生方、保護者、同窓生のほか、200人の地域の方々を含め約500人が参加して下さいました。創立記念礼拝、平和学園ゆかりのプロスキーヤー三浦雄一郎さんの勇気を与えて下さった講演会、そして新中学校校舎音楽室で、平和ファミリーが集っての和やかな

ティーパーティーと、午後のひとときを平和学園に係わる多くの人々が交歓いたしました。

この事業は、来年の本番を控えての試行として、幼・小・中・高の学園の先生方、保護者の皆様、そして、同窓生と、いわゆる平和ファミリーが力を合わせて準備運営をしました。

このプレイベントの成果は、地域の人々に平和学園を知っていただくことができたことは勿論、今まで、学園の先生の力に頼られていた学園の発信活動を、保護者、同窓生も力を合わせて信頼しあい、協力しあい成功に導いたことでしょうか。

「平和ファミリーが動き始めました。」これから、小中学校同窓会の秋のホームカミングデーや、来年少し充実した創立60周年記念行事、そして同窓会大交歓会等多くの計画を予定しています。

同窓生の皆様どうか、わが母校、平和学園に関心を寄せてください。新しい平和学園を見てください。様々な行事に集ってください。様々な活動に力を貸してください。維持会費などを通して、応援してください。

平和学園が、私達卒業生にとつて、誇りを持てる学園であるために。

干支の年にウラヌスを!

小学校同窓会 副会長 S.38小卒 岩倉 具司

十二支というのがございます。子丑寅卯辰巳午未申酉戌亥というやつです。どう読むのか無学の私にはよくわかりません。股の時代にできたそうです。これに動物の名前をあてて鼠(ね)、牛(うし)、虎(とら)、兎(う)、竜(たつ)、蛇(み)、馬(うま)、羊(ひづり)、猿(さる)、鶏(とり)、犬(いぬ)、猪(い)としています。今年『鶏』です。12年で一回りしますから、酉年生まれの方は今年12歳、24歳、36歳、48歳…。

小生は昭和25年寅年生まれ。生まれてこの方55年ほどたちました。ふと振り返って見ますに自分の干支の年、つまり12、24、36、48歳つてえのはそれぞれが、まあ、これから先はわかりませんが、自分の老いの歴史の中の『ある時代』を代表しているような気がしております。

『十年一昔』などもいいます。細かな議論は抜きにして、これなんかも、どこかそれに近いような…。

数年前から同窓会の実行部隊が入れ替わり、若気の至りとでも申しましようか、『河とか実績を…』という空気がございます。ホームカミングデーなるものを作り上げ、同窓生諸兄の来訪を仰ぎ、当日に同窓会を開催いただき、その往來を活発にし、もつてして愛する母校の一助足らんとする…という具合でございます。いろいろ工夫はしてみましたが、でもだめです。一向にホームカ

ミングデーの来訪者は増えず、ましてやクラス会が当日開かれたなどとなると、もつてして何をかいわんや…というべきでございます。

打開策を求めて日夜熟論を戦わせた。そんな中、ついにある時ポツと『十二支案』なるものが登場いたしましたのであります。『平和学園同窓会員は自らの干支に当たる年には所属クラスの同窓会を開催することを熱望しているに違いない。』であります。もちろん場の空気は「開催する義務を負う」ではありましたが、そこは良識ある大人。ぐつと自制心を働かせ苦肉の表現『熱望…ちがいない!』となつたのであります。今後毎年、同窓会本部からその年の干支にあたるクラスの方々にうるさい催促がいくと思えます。これもひとえに『愛する平和学園のため』でございます。ご辛抱の上、ぜひご協力いただきたく…。

もちろん早生まれの方々を抱かれるであろう不満、これは想像に難くありません。如才なき実行部隊としては『もし諸般の事情により当年に開催できなかつた場合はその学年の早生まれの者の干支の年に開催したくなるに違いない!』という一文をここに添え執行部の新方針の深い理解を賜るつもりでございます。ご自身の干支の年がやってきたら『ああ 今年平和の同窓会、たな!』です。お忘れなく!!

From 平和2005年 (4月23日)

創立記念礼拝

気持ちよく晴れ上がった春の午後。近隣のお客様、先生方、PTAの方々、卒業生等三々五々、賀川村島記念講堂に集まりました。1時半より礼拝(雨宮先生の司式により夏村先生のお話、岡崎先生の祈禱)

夏村先生のお話「村島先生の建学の精神、終戦当時の戦争に対する平和と言う意味だけではなく、現在は毎日の生活の中でもたくさん小さな平和を感じることが出来る。平和学園は本当に平和の園となり、その理想に向かってこの60年間歩み続け、また今後も歩んでいく。」

2時半よりいよいよ三浦雄一郎氏の講演会。まず、ビデオテープでエベレスト登頂時の記録を見せていただき、終了後お話を聴く。三浦氏も平和ファミリーの一員であること。お子さんが小さい頃、冒険家である雄一郎氏は帰宅する

日が少なく、ほとんど母子家庭同然であった。そのため、奥様の姉上在任の浜竹に引越してこられ二人のお子さんを平和学園に入学させたという。

次に本題に入り、「どうやって70歳で夢を実現させたか」と言うお話。

講演会

高く遠い夢

70歳、エベレスト登頂

冒険家 三浦雄一郎

65歳のとき、身長165cmの私の体重は80kg前後ありました。世界7大陸の主峰を登り、37歳でエベレスト8000mからスキー滑降をしたプロスキーヤーであり冒険家の私が、単なる「デブ」としてそこにいたのです。か

たや父敬三は88歳で4000m級のアルプスの尾根を縦走するツアーをし、90歳を超えてからも年間120日以上スキーを滑り、ツアーリーダーとなつてカナダやアルプスのスキーツアーを企画して仲間を引き連れ出かけているのです。その上、99歳の白寿の祝いにモンブランを滑ると宣言していました(実際に見事達成!!)。また次男豪太は、スキーヤーとして注目され、フリースタイルスキーのモーグル種目で2回もオリンピック

出場を果たし、世界を飛び回っていました。

それに比べオレはナンなんだ!という思いです。成人病にかかり、体力の衰えを感じ、チャレンジする喜びも失せ、夢にかける綺羅星のような感性などどこかに置き忘れていた自分。世界の冒険家ミウラはいったいどこにいるんだと。不可能かもしれない、でももう一度夢に向かって走り出してみよう、そう心に誓い、5年をかけて70歳エベレスト登頂への挑戦の日々をスタートさせたのです。

まずは札幌の自宅近くの531mの藻岩山へ25kgの荷物を背負って登ろうとしました。ところが途中でダウン。こんな自分がエベレスト登頂なんて夢をいだいてよいのだろうかというショック。気の遠くなるようなエベレストへの第一歩がこれでした。そこで本当に

一念発起し、自分の体力の測定から行い、食事を見直し、トレーニングプランを立てることから始めたのです。

5年間、エベレストの頂上に立つ自分の姿をイメージし、その夢に向かって進みました。一見大変に見えるトレーニングも夢へのプロセス。楽しみながら無理をせずにできたのもこの夢があつたのと。そしてついに2003年5月22日午後12時10分、エベレストの頂上に立つミウラ隊の中に私がいきました。地球のいちばん高いところに立った感動を忘れることができません。

そして今、75歳でエベレストからスキーで滑降するという新たな夢に向かって歩き出しています。

ティーパーティー

公演会終了後、落成間もない新一号館音楽室で、三浦氏を囲んでティーパーティーが開かれました。

中高生のステイールパン演奏やハンドベル演奏もあり、平和ファミリーのなごやかな交流が行われました。

今回の企画は、来年の創立60周年のプレ事業として学園全体が一致協力して開催したもので、大成功を収めました。

来年はいよいよ60周年!!すでにいろいろな計画が実現に向けて動き出しております。皆様もどうか多大なご協力をお願いします。

小学校の教頭先生交代

退職された先生

S32卒 和田扶実子先生

22年間(内16年間小学校)で教えて来られた和田先生が今年3月で退職されました。

▼平和小で一番の思い出は:

内緒で計画されたお別れ会(3月31日)にたくさんの方々が集まってくれたこと。プレゼントされた楽しいカード、色紙、お手紙等は一生の宝物です。

▼平和小の生徒に望むこと:

このまま素直ですばらしい生徒でいてほしい。

▼これからやりたいこと:

今体調がすぐれないので、ゆっくり休んでから考えたい。

新しい教頭先生

S48卒 岡崎一実先生

▼平和学園に来られる前は:

鎌倉市内の小学校に20年間勤めていました。

▼平和小に望むこと:

帰って来たくなくなるような学校であつてほしい。本人も子供も、二世代、三世代と続けて入学したくなるような学校にしたい。

▼御趣味、好きな事は何ですか:

「本」が好きです。買うのも、読むのも、集めるのも好きです。

(岡崎先生は、岡崎晃先生のご長男です)



一、「なんと、もつたいないことか」

お髭のお医者様がいます。そして、孫の手を引いてパイプオルガン・コンサートに来られる年老いた(?)ご婦人もいます。理事にも評議員にも、教職員にも卒業生がいる。近年、とみに卒業生の子どもたちが、そして孫たちが、入学者に増加中。

先日、茅ヶ崎市内の小学校を訪ねたとき、「授業で大変お世話になっていきます。」と、校長先生からごあいさつを受けました。最初は何のことやら分からなかったのですが、「平和学園小学校卒業生の力を借りて、生活科など大変ユニークな行事ができています、感謝の限り!」とお礼のことば。

「ロータリークラブでお話しを」と依頼を受けて、市内の知名人の皆さんの中に、少々おぼろげとした気持ちで出掛けて参りました。ところが、ここでも恰幅の良い講師(?) 接待役の紳士は、「私は学園の小学校の卒業生です。」とのこと。小学校の生きた歴史を、行く先々で実感させられる昨今です。

学園の草創期に、このような時の到来を!と、村島先生はいつ

も夢に見、幻に描いていらつしやたことです。確かにいろいろなところでそのように語り、またそのようにお書きになっておられました。その夢、その幻が、実際に展開している今日、学園の教職にあることは、なんともつたいないことか!!

二、「こころの相貌」

『ハブと象』さんが見える

今年、翻訳権が切れたせいか、「星の王子さま」の翻訳が新たに二、三出版されました。その一つの「あとがき」に、聖書に次ぎ今や世界のロングセラーになったと書かれていました。今年はまだ、例年になく、子ども向けの作品を書いたり、アニメの制作者であったりする作家の作品が、いくつも芥川賞の候補に上がりました。そこで、ふと、聖書の言葉を思うのです。「幼な子の如く成らずば、神の国を見ること能わず。」(ルカによる福音書一八章一七節) として思うのです。卒業して幾星霜。その後の時の流れに比例して、相貌にも、互いにいよいよ老いの記しを刻むは自然の理。しかし同窓とは、それが小学校となれば、お互い相見で、「ちゃん」と呼び交わし、互いに相貌を相照らしてみれば、心の相貌は常にあの日あのとときの「ちゃん」のまま。

中・高・大と、同窓会はいろいろございます。そしてそれは確かに楽しく盛んなことでもありません。しかし、互いに相見れば、「星の王子さま」のハブに食われた象が、決して「帽子」には

見えない仲間の同志。これこそ小学校同窓会の心の相貌、心のしるし。鳩の校章が今では互いの心の徽章に。心はいつとも幼な子、いつまでも小学生。神の国の一員です。それでなければ村島先生のユーモアが「帽子」に見えてしまします。

小学校だより

4年担任 大野 仁

昨年より小学校では4年生で「田んぼ体験学習」をしています。「田植え↓稲刈り↓脱穀↓もちつき↓調理↓1~6年生全員に振舞う」と稲を育て収穫し食べるところまでを一通り体験しようというものです。去年の4年生担任の高岸先生が「どうしても本格的な稲作を体験させたい」と茅ヶ崎の農協に問い合わせたところ、なかなか条件が合わず、元小学校校長の荒井先生から平和学園卒業生の岡庄司さんにたどり着き、お邪魔しました。主に乳牛についてとても分かりやすく話してくれました。子どもたちに「牛のえさやり」をさせてくださり、絞らたてのおいしい牛乳もたつぷりいただきました。そんなわけで子どもたちはすでに岡さんの大ファンです。田植えの前の事前授業も真剣に話を聞きました。

今年の田植えは天候不順で2回も順延となりましたが、6月19日は暑すぎず涼すぎずの絶好の田植え日和となりました。礼拝を終え26名全員でいざ出発です。9時45分ごろ今宿にある田んぼ

に到着。靴下を履き、岡さんの説明をしっかりと聞き、恐る恐る田んぼに入りました。ぐにぐにゆにゆの田んぼの土の感触に悲鳴を上げたり、感激したりしながら一步一步がに股(田んぼを歩くコツ)だそう、これも岡さんから伝授されました。)で田んぼの中を進んでいきます。列に並び、稲の束を配られ、田植えの開始です。深く刺しすぎてもだめ、浅すぎると倒れてしまうのでだめ、加減がとても難しいです。1列目、2列目と進むにつれ、コツがつかめてきたようで、なんと「ほれ!!」と投げつけてくれます。10列ほど植えたところで田植えは終了。一人、30~40株くらい植えました。時間にすると40分くらいです。着替えを済ませ田んぼを見てもいい。初めてにしてはなかなかです。でも、農家の方が手で植えたほかの田んぼに比べるとかなり見劣ります。さすが、プロは違うなとみんなが感心しました。その後は、徒歩で岡さんのお宅に行きお弁当を食べ、搾りたての牛乳をごちそうになりました。「売っている牛乳とは味がぜんぜん違う」という声も聞かれます。

12時前に食事が終わると、岡さんが牛小屋に呼んでくださり、牛の特別授業をしてくださいました。次に岡さんの案内で広い畑を探検し

ました。じつにたくさん野菜や果物を見せてもらい、びわ、にんじんとお土産までもらってしまいました。そして最後は、岡さん宅の縁側にあるピアノを鶴丸先生が弾き、賛美歌も歌いました。岡さんご夫妻(奥様もとても優しい方で子どもたちに本当によくしてくれました。)の嬉しそうな顔を見て子どもたちの歌にもさらに心がこもります。岡さんの奥様は日に涙を浮かべながら聴いてくださいました。コンサートは1時40分まで続き、名残惜しいつばいの気持ちで岡さん宅を後にしました。お天気にも恵まれ、学ぶことが多い一日でした。「田植え体験」はもちろんですが、一人ひとりの子どもたちを大切に育てくださり、「できることは何でもやってあげよう」と献身的に真心いっぴいで接してくださった岡さんの姿から、人として最も大切な心を学んでくれたのではないかと思っています。こんなに素敵な卒業生に恵まれた子どもたちは幸せです。



「中学校新校舎完成」今年一月から使用開始

中学校同窓会 会長(事務局長) S31年中卒 東 安彦

待望の中学校新校舎、「新1号館」が完成しました。新校舎をご紹介します。

位置▼鉄砲道の南側敷地、小学校校章に似たハトマークのある正門に立つと左手、賀川村島講堂と向かい合う場所にあります。

配置▼新校舎は中学棟と高校棟とに分かれ、鉄砲道沿いに中学棟地階へ続く芝生広場(写真)をはさんで南側が高校棟(今年12月に完成)です。

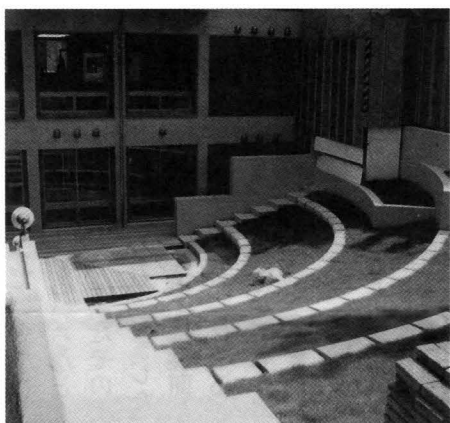
規模・構造▼中学棟は地上4階地下1階(高校棟は地上3階)で、延三千九百余㎡、新耐震基準による直接基礎、鉄筋コンクリート造です。

計画のテーマ▼
 ●教育の場としての十分な機能効率性に加えて、生徒が一日の大半を過ごす「生活の場」にふさわしい居住性を備えた教育環境を創る。

●自然災害から、児童・生徒・職員の生命身体を守るとともに、教育施設・設備の保全に十分な強度を備える。

●地域に根ざし、地域によって育まれた学園として、より一層の交流、連携を深められる施設づくりを目指す。

●「湘南茅ヶ崎」の教育・文化の拠点にふさわしい独自の建築様式を備える。



施設の内容

▼普通教室は各学年4クラス、計12クラスが、学年別に2階〜4階に配置されています。高校と共有の特別教室は、進学に備える物理系と生物化学系二つの理科教室のほか、最新のシンクライアントシステムを備えたパソコン教室、ものづくり教室、調理実習室、美術室、音楽室等があります。音楽室は屋外ステージや芝生広場とともに多様な活用が可能です。

特徴的施設▼1階ホールに面した集会室は中学校の礼拝の場として静謐な雰囲気そなえています。うしろの扉を開くと、学園初お目見えのランチルームにつながり、様々な場面での利用が考えられます。

人を得、時に恵まれたとき、すてきな名前の学園レストランが、訪れる人、街をゆく人々に親しまれ喜ばれることを夢みています。ぜひ新中学校へ遊びに来てください。

児童募集

(小学校)

- ◆募集人員 / 27名(男・女)
- ◆願書受付 / 9月26日(月)~10月7日(金) 土・日・休日を除く
- ◆試験日 / 10月25日(火) 午前10時

※詳細は下記まで
<http://www.jr.aletheia.ac.jp/>
 TEL 0467-87-1662

生徒募集

(アレセシア湘南中学校)

- ◆募集人員 / 80名(男・女)
- ◆試験日 / 2月1, 4, 8日(予定)

※詳細は下記まで
<http://www.jr.aletheia.ac.jp/>
 TEL 0467-87-7760
 FAX 0467-87-0496

新しい同窓会室

小中高合同の同窓会室ができました。今後の御連絡は、こちらにお願いします。

場所 / ダイアンサス・〇二号室
 開館日時 / 月・火・木・金曜日
 午後一時〜三時

事務職員 / 竹崎万佐子さん(S31中卒)
 電話 / 〇四六七(八七) 〇一七四
 メール / heiva-koyukai@mail.goome.jp

バザーについてお願い

昨年のバザーでは寄贈品販売を計画しました。家で眠っていた品、輸入陶器の大量の御寄付(佐伯精三さんより)等で一八万三七二〇円の売上げがあり、動物福祉協会に八万円、PTA父母会に五万円寄付させていただき、五万三七二〇円を同窓会費とさせていただきます。

今年もバザーに参加しようと計画しています。不用品(新品に限る)、手芸品何でも結構です。左記までお届け、又はお送りください。

〒二五三〇〇三二

神奈川県茅ヶ崎市富士見町五一二

平和学園事務局内 竹崎様宛

電話 〇四六七(八二) 〇一三一

開催日時

小学校バザー

11月3日(木) 文化の日

11時〜13時まで

ホームカミングデー

平和学園小学校内

11時〜15時まで

当日のお手伝いも歓迎です。どうか皆様、楽しい一日を過ごしましょう。

編集後記

前号からあつという間に早や一年。皆様にお知らせしたいことは山程ありますが、力不足また、紙面の関係でこのようなものになってしまいました。

来年は60周年記念号を出さなければなりません。ごなたか編集に携わってくださいませんか。

今回も、原稿をお寄せくださった方々に深く感謝申し上げます。

岡田・高屋・細矢

収入		支出	
入金(323名)	327,000	寄入金(動物福祉協会・PTA父母会)	130,000
会費(21名×6,000)	126,000	通信・印刷・「まつかぜ」3号発行費	279,677
雑入金	183,720	学校友会費	25,200
上利息	186	維持会費	20,310
繰越金	2,217,523	ホームカミング会費	3,650
合計	2,864,429	立60周年記念事業関係費	21,553
		卒業生へのカード・事務用品	132,298
		合計	2,248,392
		合計	2,864,429

平成16年度会計報告

二〇〇五年度学校行事予定

- 9月17日(土) 文化祭(中・高)
- 9月19日(月) オープンスクール(小)
- 9月21日(水) 運動会(小)
- 10月15日(土) バザー(小)
- 11月3日(木) パイプオルガンコンサート
- 12月10日(土) クリスマス礼拝
- 12月15日(木) 小学校卒業式
- 3月16日(土)